

景況レポート

No.133

2020年10月～12月期



北見しんきん

〒090-8711 北見市大通東1丁目2番地1

電話(代) 0157-66-3111

URL: <http://www.shinkin.co.jp/kitami/>

本レポートはホームページでもご覧になれます。

景気動向

道内景気

日本銀行札幌支店が12月14日に発表した12月の企業短期経済観測調査結果(短観)によりますと、道内企業の景況感を示す業況判断指数(DI:「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を引いた値)は全産業で▲10となり、前回の調査『▲19』から改善しました。内訳では、製造業(前回▲25→今回▲13)、非製造業(前回▲17→今回▲9)ともに改善しました。2021年3月までの全産業での先行き予測は▲18と、悪化の見通しです。

また、12月14日に発表された道内の金融経済概況は次の通りです。道内の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状況にあり、足もとでは持ち直しのペースが鈍化している。個人消費は、引き続き低い水準となっており、足もとでは持ち直しのペースが鈍化している。観光は、引き続き厳しい状況にあり、足もとでは持ち直しのペースが鈍化している。輸出、住宅投資は横ばい圏内の動きとなっている。設備投資は減少している。公共投資は高水準で推移している。生産は下げ止まっている。雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱めの動きがみられている。

- ・ 公共工事の発注の動きを示す公共工事請負金額は、高水準で推移している。
- ・ 新設住宅着工戸数をみると、持家は横ばい圏内の動きとなっている。貸家は低水準で推移している。分譲は高めの水準で推移している。
- ・ 個人消費は、サービス消費、百貨店販売などでは、引き続き低い水準となっており、足もとでは持ち直しのペースが鈍化している。日用品や食料品では底堅い動きとなっている。
- ・ 観光は、引き続き厳しい状況にあり、足もとでは持ち直しのペースが鈍化している。
- ・ 消費者物価(除く生鮮食品)は、エネルギー価格を中心に前年を下回っている。
- ・ 企業倒産は、低水準で推移している。

地区内景気

今回の当金庫の景気動向調査による北見地区の景況は、前年同期と比較したDI値は、売上高が▲42と14ポイントの改善、収益も▲41と14ポイントの改善でした。直前3ヵ月と比較した今後3ヵ月の見通しでは、売上DI値は▲50、収益DI値は▲49となり、季節要因も加わって悪化の見通しとなっています。

特別調査【2021年（令和3年）の経営見通し】

当地方における2021年の経営見通しをお尋ねしました。

【日本の景気】

「やや悪い」「悪い」「非常に悪い」の合計は90.6%となりました。昨年の調査（46.4%）から増加しています。

【自社の業況】

「やや悪い」「悪い」「非常に悪い」の合計は75.1%となり、昨年の調査（45.9%）から増加しました。

一方、「非常に良い」「良い」「やや良い」の合計は4.4%（昨年13.8%）、「普通」は20.5%（昨年40.3%）とともに減少しています。

【売上額の伸び率】

「増加」の回答合計は15.5%となり、昨年の調査（21.6%）から減少しました。

「減少」の回答合計は62.4%と昨年の調査（33.6%）から増加しました。

昨年と同様に、「減少」の回答合計が「増加」の回答合計を上回っています。

【自社の業況が上向き転換点】

「すでに上向いている」は6.6%となり、昨年の調査（15.5%）から減少しました。

一方で、「業況改善の見通しは立たない」についても27.1%と昨年の調査（45.8%）から減少しています。

【資金繰り以外に地域金融機関に求めること】

「各種補助金・助成金等の活用支援」が58.6%と最も多く、以下「ビジネスマッチング・顧客紹介」が24.3%と続いています。対して、「資金繰り支援以外に求めるものはない」は18.8%にとどまっており、多くの企業が資金繰り以外に何らかの支援を求めていると推察されます。

【貴社では、2021年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。】

《全国》		
1. 非常に良い	0.0%	0.1%
2. 良い	0.0%	0.5%
3. やや良い	1.1%	3.0%
4. 普通	8.3%	10.9%
5. やや悪い	28.2%	40.8%
6. 悪い	45.8%	37.1%
7. 非常に悪い	16.6%	7.7%

【貴社では、2021年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。】

《全国》		
1. 非常に良い	1.1%	0.2%
2. 良い	0.0%	1.0%
3. やや良い	3.3%	5.3%
4. 普通	20.5%	28.8%
5. やや悪い	39.2%	41.8%
6. 悪い	27.1%	19.0%
7. 非常に悪い	8.8%	4.0%

【2021年において貴社の売上額の伸び率は、2020年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。】

《全国》		
1. 30%以上の増加	1.1%	1.2%
2. 20～29%の増加	0.5%	1.8%
3. 10～19%の増加	2.8%	5.8%
4. 10%未満の増加	11.1%	11.5%
5. 変わらない	22.1%	30.2%
6. 10%未満の減少	25.4%	23.0%
7. 10～19%の減少	19.3%	15.1%
8. 20～29%の減少	11.1%	6.7%
9. 30%以上の減少	6.6%	4.7%

【貴社では、自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。】

《全国》		
1. すでに上向いている	6.6%	9.6%
2. 6か月以内	7.7%	10.4%
3. 1年後	21.6%	23.3%
4. 2年後	22.6%	19.0%
5. 3年後	9.4%	12.5%
6. 3年超	5.0%	6.8%
7. 業況改善の見通しは立たない	27.1%	18.4%

【現下のコロナ禍において、貴社では、資金繰り以外の事業計画・戦略等の策定・実行支援として、地域金融機関に求めることはありますか。求めることがある方は、1～9の中から3つまで選んでお答えください。】

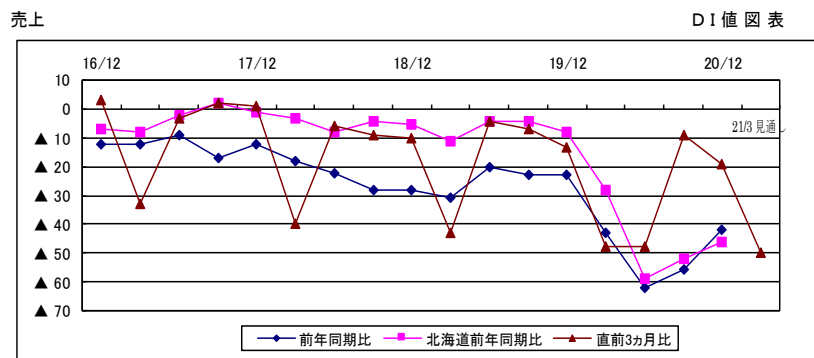
《全国》		
1. 各種補助金・助成金等の活用支援	58.6%	58.6%
2. ビジネスマッチング・顧客紹介	24.3%	37.4%
3. 各種専門家や専門機関との連携支援	10.5%	11.6%
4. 人材獲得育成・人材派遣の支援	12.2%	13.3%
5. IT化・デジタル化への支援	10.5%	9.9%
6. 新分野進出・業態転換の支援	9.9%	8.7%
7. 事業継続計画（BCP）の策定支援	5.5%	4.4%
8. 事業承継・M&A支援	8.8%	9.3%
9. 円滑な廃業へ向けての支援	2.8%	2.2%
0. 資金繰り支援以外に求めるものはない	18.8%	14.3%

売上

調査対象先企業 181 社の売上を総体的にみますと、前年同期（19 年 10～12 月）と比較して「増加」した先 18%、「変らず」の先 22%、「減少」した先 60%で、その D I 値（増加割合－減少割合）は▲42 となり、前回調査より 14 ポイント改善しました。

業種別でみますと、卸売業・建設業・サービス業は改善、小売業は悪化、製造業は横ばいとなっています。

3 ヶ月毎の比較では悪化、今後 3 ヶ月についても悪化の見込みです。



調査時期	16/12	17/3	17/6	17/9	17/12	18/3	18/6	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12
北海道前年同期比	▲7	▲8	▲2	2	▲1	▲3	▲8	▲4	▲5	▲11	▲4	▲4	▲8	▲28	▲59	▲52	▲46

※前年同期比の未期見通しは調査しておりません。

調査時期	16/12	17/3	17/6	17/9	17/12	18/3	18/6	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12
直前3ヵ月比	3	▲33	▲3	2	1	▲40	▲6	▲9	▲10	▲43	▲4	▲7	▲13	▲48	▲48	▲9	▲19

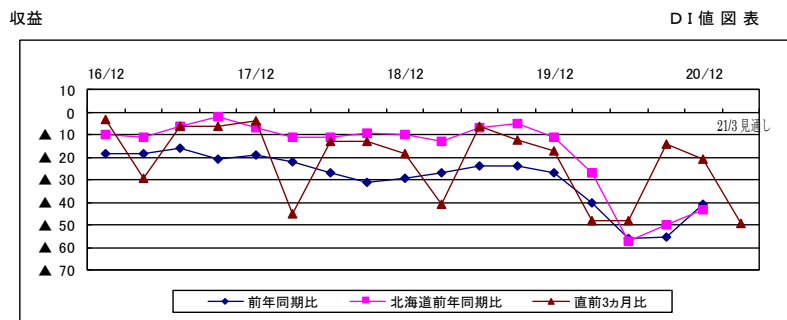
グラフに掲載している北海道の「前年同期比」のデータは、本調査と同時に行った全道の信用金庫によるお取引先を対象とした調査結果のもので、1 ページ目の日銀短観とは別の調査によるものです。

収益

調査対象先企業 181 社の収益を総体的にみますと、前年同期（19 年 10～12 月）と比較して「増加」した先 17%、「変らず」の先 25%、「減少」した先 58%で、その D I 値（増加割合－減少割合）は▲41 となり、前回調査より 14 ポイント改善しました。

業種別でみますと、卸売業・建設業・サービス業は改善、製造業・小売業は悪化となっています。

3 ヶ月毎の比較では悪化、今後 3 ヶ月についても悪化の見込みです。



調査時期	16/12	17/3	17/6	17/9	17/12	18/3	18/6	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12
北海道前年同期比	▲10	▲11	▲6	▲2	▲7	▲11	▲11	▲9	▲10	▲13	▲7	▲5	▲11	▲27	▲57	▲50	▲43

※前年同期比の未期見通しは調査しておりません。

調査時期	16/12	17/3	17/6	17/9	17/12	18/3	18/6	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12
直前3ヵ月比	▲3	▲29	▲6	▲6	▲4	▲45	▲13	▲13	▲18	▲41	▲6	▲12	▲17	▲48	▲48	▲14	▲21

グラフに掲載している北海道の「前年同期比」のデータは、本調査と同時に行った全道の信用金庫によるお取引先を対象とした調査結果のもので、1 ページ目の日銀短観とは別の調査によるものです。

概 況

調査先製造業全体の業況を前年同期(19年10~12月)と比較してみますと、売上で「増加」した先13%、「変らず」の先22%、「減少」した先65%で、そのD I 値(増加割合-減少割合)は▲52となり、前回調査と同じでした。

収益は「増加」した先10%、「変らず」の先25%、「減少」した先65%で、そのD I 値(増加割合-減少割合)は▲55となり、前回調査より3ポイント悪化しました。

調査回答数(前年同期比)

		増加	変らず	減少	D I 値
売上	前回(20/9)	6	3	22	▲52
	今回(20/12)	4	7	20	▲52
収益	前回(20/9)	4	7	20	▲52
	今回(20/12)	3	8	20	▲55

動 向

【前年同期との比較】

売上は横ばいとなり、収益は悪化しました。
内訳をみますと、木材製品が悪化しています。

【直前3ヵ月との比較】

売上は悪化し、収益は改善しました。

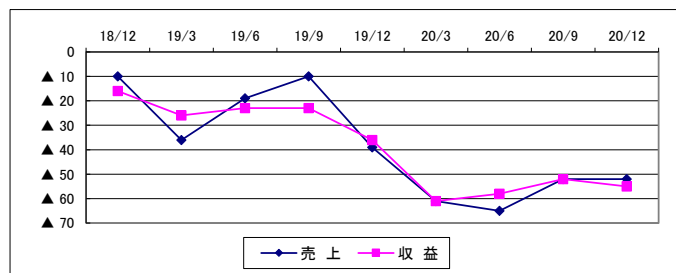
【今後3ヵ月の見通し】

売上・収益ともに悪化の見通しです。

調査員のコメントには、「コロナ禍による影響は来年度以降に表れてくると予想するが、何も見通しが立たないの不安が大きい」、「若い人材を確保できず、人手不足が改善されない」といったものがありました。

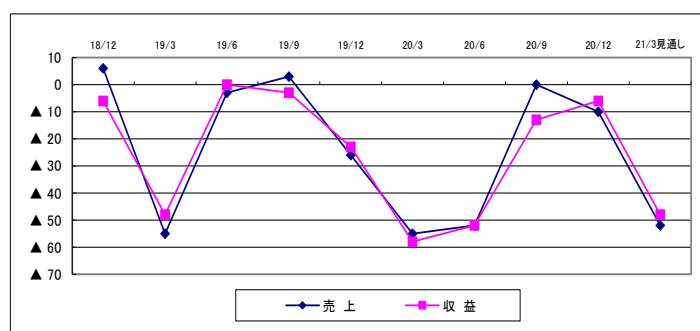
前年同期比

DI値図表



直前3ヵ月比

DI値図表



調査時期	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12	21/3見通し
売上	6	▲55	▲3	3	▲26	▲55	▲52	0	▲10	▲52
収益	▲6	▲48	0	▲3	▲23	▲58	▲52	▲13	▲6	▲48

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項 目	全 体	食 料 品	木材製品	建設関連	そ の 他	
売 上 額	7月～9月と比較	▲ 10	▲ 14	30	0	▲ 71
	1月～3月の見通し	▲ 52	▲ 57	▲ 90	▲ 28	▲ 14
収 益	7月～9月と比較	▲ 6	▲ 43	20	29	▲ 43
	1月～3月の見通し	▲ 48	▲ 71	▲ 70	▲ 14	▲ 29
販売価格	7月～9月と比較	0	0	0	0	0
	1月～3月の見通し	▲ 4	0	▲ 20	▲ 14	29
原材料 価 格	7月～9月と比較	7	29	▲ 10	14	0
	1月～3月の見通し	16	43	▲ 10	43	0
原材料 在 庫	7月～9月と比較	10	14	▲ 10	29	14
	1月～3月の見通し	7	14	▲ 10	14	14
資金繰	7月～9月と比較	0	0	▲ 20	14	14
	1月～3月の見通し	▲ 10	0	▲ 40	0	14

概 況

調査先卸売業全体の業況を前年同期(19年10～12月)と比較してみますと、売上で「増加」した先23%、「変らず」の先18%、「減少」した先59%で、そのD I 値(増加割合－減少割合)は▲36となり、前回調査より19ポイント改善しました。

収益は「増加」した先27%、「変らず」の先14%、「減少」した先59%で、そのD I 値(増加割合－減少割合)は▲32となり、前回調査より18ポイント改善しました。

販売価格は「増加」した先36%、「変らず」の先60%、「減少」した先4%で、そのD I 値(増加割合－減少割合)は32となり、前回調査より23ポイント上昇しました。

調査回答数(前年同期比)

		増加	変らず	減少	D I 値
売上	前回(20/9)	2	6	14	▲55
	今回(20/12)	5	4	13	▲36
収益	前回(20/9)	2	7	13	▲50
	今回(20/12)	6	3	13	▲32
販売価格	前回(20/9)	5	14	3	9
	今回(20/12)	8	13	1	32

動 向

【前年同期との比較】

売上・収益ともに改善し、販売価格は上昇しました。
内訳をみますと、食料品・建設関連が大きく改善しています。

【直前3ヵ月との比較】

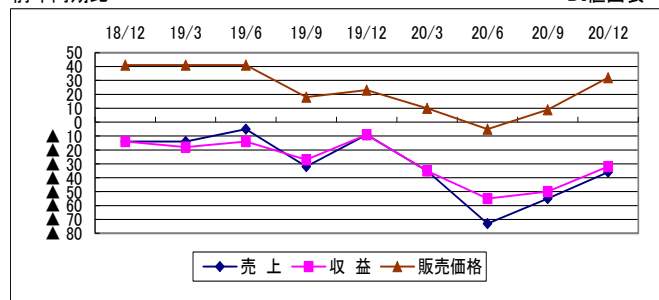
売上は悪化、収益は横ばいとなり、販売価格は下降しました。

【今後3ヵ月の見通し】

売上・収益ともに大きく悪化し、販売価格は下降する見通しです。

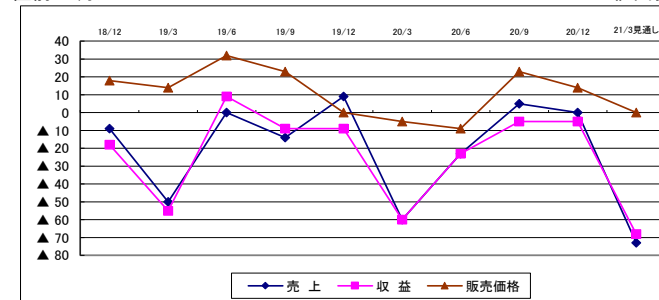
調査員のコメントには、「来年以降は公共建造物の受注は多くないと見込まれ、加えてコロナ禍により民間企業の設備投資意欲が低下しているため見通しは厳しい」といったものがありました。

前年同期比 DI値図表



調査時期	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12
売上	▲14	▲14	▲5	▲32	▲9	▲35	▲73	▲55	▲36
収益	▲14	▲18	▲14	▲27	▲9	▲35	▲55	▲50	▲32
販売価格	41	41	41	18	23	10	▲5	9	32

直前3ヵ月比 DI値図表



調査時期	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12	21/3見通し
売上	▲9	▲50	0	▲14	9	▲60	▲23	5	0	▲73
収益	▲18	▲55	9	▲9	▲9	▲60	▲23	▲5	▲5	▲68
販売価格	18	14	32	23	0	▲5	▲9	23	14	0

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項 目		全 体	食 料 品	建設関連	そ の 他
売 上 額	7月～9月と比較	0	▲29	25	0
	1月～3月の見通し	▲73	▲100	▲88	▲29
収 益	7月～9月と比較	▲5	▲14	25	▲29
	1月～3月の見通し	▲68	▲86	▲88	▲29
販売価格	7月～9月と比較	14	▲14	38	14
	1月～3月の見通し	0	0	0	0
仕入価格	7月～9月と比較	9	0	13	14
	1月～3月の見通し	5	0	13	0
在 庫	7月～9月と比較	14	29	0	14
	1月～3月の見通し	5	14	0	0
資 金 繰	7月～9月と比較	▲5	▲29	0	14
	1月～3月の見通し	▲9	▲29	0	0

概 況

調査先小売業全体の業況を前年同期（19年10～12月）と比較してみますと、売上で「増加」した先17%、「変らず」の先12%、「減少」した先71%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲54となり、前回調査より14ポイント悪化しました。

収益は「増加」した先17%、「変らず」の先12%、「減少」した先71%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲54となり、前回調査より11ポイント悪化しました。

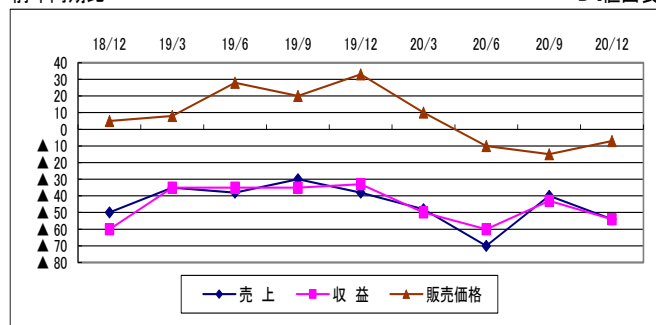
販売価格は「増加」した先10%、「変らず」の先73%、「減少」した先17%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲7となり、前回調査より8ポイント上昇しました。

調査回答数（前年同期比）

		増加	変らず	減少	D I 値
売上	前回(20/9)	8	8	24	▲40
	今回(20/12)	7	5	29	▲54
収益	前回(20/9)	9	5	26	▲43
	今回(20/12)	7	5	29	▲54
販売価格	前回(20/9)	3	28	9	▲15
	今回(20/12)	4	30	7	▲7

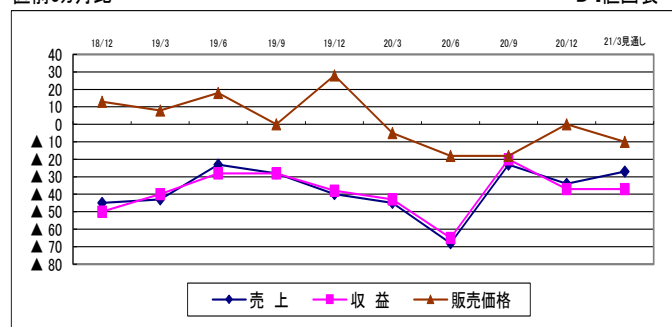
前年同期比

D I 値図表



直前3ヵ月比

D I 値図表



調査時期	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12	21/3見通し
売上	▲45	▲43	▲23	▲28	▲40	▲45	▲68	▲23	▲34	▲27
収益	▲50	▲40	▲28	▲28	▲38	▲43	▲65	▲20	▲37	▲37
販売価格	13	8	18	0	28	▲5	▲18	▲18	0	▲10

動 向

【前年同期との比較】

売上・収益ともに悪化し、販売価格は上昇しました。

内訳をみますと、食料品が改善しています。

【直前3ヵ月との比較】

売上・収益ともに悪化し、販売価格は上昇しました。

【今後3ヵ月の見通し】

売上は改善、収益は横ばいとなり、販売価格は下降する見通しです。

調査員のコメントには、「コロナ禍により、来店客数が減少しており、売上が落ち込んでいる」、「キャンペーン等が奏功し、テイクアウトやデリバリーの注文が増加している」といったものがありました。

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項 目	全 体	衣 料 品	食 料 品	そ の 他
売 上 額	7月～9月と比較	▲34	▲83	▲46
	1月～3月の見通し	▲27	▲50	▲54
収 益	7月～9月と比較	▲37	▲100	▲46
	1月～3月の見通し	▲37	▲83	▲62
販売価格	7月～9月と比較	0	▲17	15
	1月～3月の見通し	▲10	▲50	8
仕入価格	7月～9月と比較	22	17	39
	1月～3月の見通し	3	▲33	31
在 庫	7月～9月と比較	5	50	0
	1月～3月の見通し	5	33	15
資金繰	7月～9月と比較	▲22	▲50	▲39
	1月～3月の見通し	▲27	▲33	▲39

概況

調査先建設業全体の業況を前年同期（19年10～12月）と比較してみると、売上で「増加」した先26%、「変らず」の先31%、「減少」した先43%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲17となり、前回調査より40ポイント改善しました。

収益は「増加」した先20%、「変らず」の先43%、「減少」した先37%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲17となり、前回調査より37ポイント改善しました。

調査回答数（前年同期比）

		増加	変らず	減少	D I 値
売上	前回(20/9)	5	5	25	▲57
	今回(20/12)	9	11	15	▲17
収益	前回(20/9)	4	8	23	▲54
	今回(20/12)	7	15	13	▲17

動向

【前年同期との比較】

売上・収益ともに改善しました。

内訳のD I 値の推移は以下のようになっています。

- ・ 土木売上：前回▲42→今回 8
- ・ 同 収益：前回▲42→今回 25
- ・ 建築売上：前回▲69→今回▲44
- ・ 同 収益：前回▲69→今回▲50

【直前3ヵ月との比較】

売上・収益ともに改善しました。

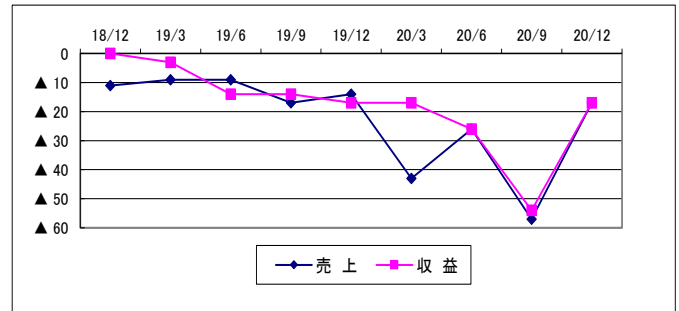
【今後3ヵ月の見通し】

売上・収益ともに悪化の見通しです。

調査員のコメントには、「新型コロナウイルスの影響により工事が延期となり、資金繰りに影響が生じた」、「従業員の高齢化が進んでおり、人手も不足し、断る仕事が多くなっている」といったものがありました。

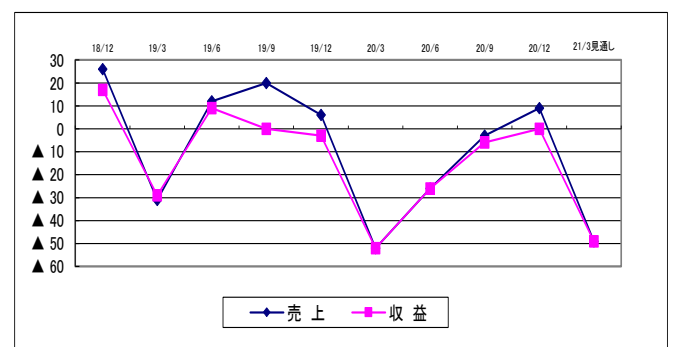
前年同期比

D I 値図表



直前3ヵ月比

D I 値図表



調査時期	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12	21/3見通し
売上	26	▲31	12	20	6	▲52	▲26	▲3	9	▲49
収益	17	▲29	9	0	▲3	▲52	▲26	▲6	0	▲49

直前3ヵ月比調査の業種別状況(D I 値による) (%)

項 目		全 体	土 木	建 築	そ の 他
売 上 額	7月～9月と比較	9	17	▲ 19	57
	1月～3月の見通し	▲ 49	▲ 42	▲ 63	▲ 29
施 工 高	7月～9月と比較	0	8	▲ 31	57
	1月～3月の見通し	▲ 46	▲ 42	▲ 56	▲ 29
収 益	7月～9月と比較	0	33	▲ 44	43
	1月～3月の見通し	▲ 49	▲ 50	▲ 56	▲ 29
請負価格	7月～9月と比較	3	8	0	0
	1月～3月の見通し	▲ 11	▲ 8	▲ 13	▲ 14
材料価格	7月～9月と比較	26	25	38	0
	1月～3月の見通し	14	17	25	▲ 14
在 庫	7月～9月と比較	▲ 3	▲ 17	6	0
	1月～3月の見通し	3	0	6	0
資金繰	7月～9月と比較	12	17	0	29
	1月～3月の見通し	6	17	0	0

概 況

調査先サービス業全体の業況を前年同期（19年10～12月）と比較してみますと、売上で「増加」した先14%、「変わらず」の先26%、「減少」した先60%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲46となり、前回調査より24ポイント改善しました。

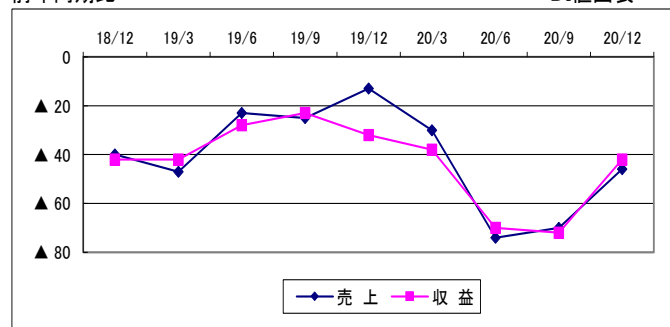
収益は「増加」した先16%、「変わらず」の先26%、「減少」した先58%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲42となり、前回調査より30ポイント改善しました。

調査回答数（前年同期比）

		増加	変わらず	減少	D I 値
売上	前回(20/9)	2	12	39	▲70
	今回(20/12)	7	14	31	▲46
収益	前回(20/9)	2	11	40	▲72
	今回(20/12)	8	14	30	▲42

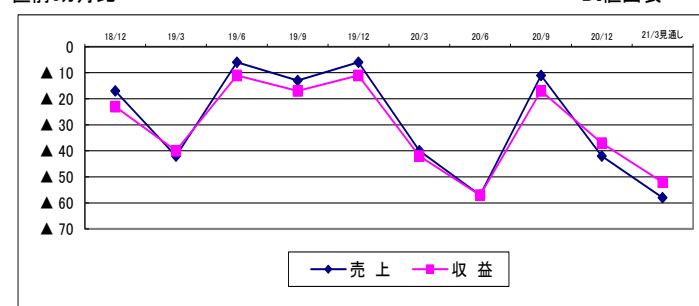
前年同期比

DI値図表



直前3ヵ月比

DI値図表



調査時期	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12	21/3見通し
売上	▲17	▲42	▲6	▲13	▲6	▲40	▲57	▲11	▲42	▲58
収益	▲23	▲40	▲11	▲17	▲11	▲42	▲57	▲17	▲37	▲52

動 向

【前年同期との比較】

売上・収益ともに改善しました。

内訳をみますと、全般的に改善しています。

【直前3ヵ月との比較】

売上・収益ともに悪化しました。

【今後3ヵ月の見通し】

売上・収益ともに悪化の見通しです。

調査員のコメントには、「新型コロナウイルスの影響により、来店客（予約制）に制限をかけているため、売上が減少している」、「本業の売上は減少傾向だが、今年度より新たな事業に取り組んでおり、全体の売上は前年度と変わらず推移している」といったものがありました。

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項 目		全 体	理容美容	車両関係	そ の 他
売上 額	7月～9月と比較	▲42	▲78	▲36	▲35
	1月～3月の見通し	▲58	▲78	▲57	▲52
収 益	7月～9月と比較	▲37	▲78	▲21	▲31
	1月～3月の見通し	▲52	▲78	▲43	▲48
料金価格	7月～9月と比較	▲4	▲11	7	▲7
	1月～3月の見通し	▲4	▲11	7	▲7
材料価格	7月～9月と比較	8	▲11	21	7
	1月～3月の見通し	8	▲11	21	7
資金繰	7月～9月と比較	▲17	▲22	▲29	▲10
	1月～3月の見通し	▲21	▲22	▲36	▲14

経営上の問題点 【複数回答】

	1 位	2 位	3 位
製造業	売上の停滞・減少 48.4%	人手不足 29.0%	利幅の縮小 29.0%
卸売業	売上の停滞・減少 77.3%	同業者間の競争の激化 36.4%	利幅の縮小 27.3%
小売業	売上の停滞・減少 68.3%	商圏人口の減少 36.6%	大型店との競争の激化 22.0%
建設業	売上の停滞・減少 60.0%	人手不足 48.6%	下請の確保難 34.3%
サービス業	売上の停滞・減少 63.5%	人手不足 21.2%	商圏人口の減少 19.2%

経営施策 【複数回答】

	1 位	2 位	3 位
製造業	経費を節減する 54.8%	販路を広げる 45.2%	人材を確保する 41.9%
卸売業	経費を節減する 59.1%	情報力を強化する 54.5%	販路を広げる 50.0%
小売業	経費を節減する 56.1%	売れ筋商品を取扱う 26.8%	品揃えを改善する 22.0%
建設業	人材を確保する 57.1%	経費を節減する 45.7%	販路を広げる 37.1%
サービス業	経費を節減する 40.4%	販路を広げる 28.8%	人材を確保する 26.9%

【調査要領】

1. 調査地域 北見地方1市4町（北見市、置戸町、訓子府町、美幌町、津別町）
2. 調査時点 2020年12月
2020年10月～12月期の実績および見込み
2021年 1月～ 3月期の見通し
3. 調査対象企業 当金庫お取引先181社（任意抽出）
回答企業数 181社
回答率 100%
4. 調査方法 調査表による訪問聞き取り調査
調査表は信金中央金庫が実施する「全国中小企業景気動向調査」と同一のものを使用
5. 業種別回答企業数

製造業	卸売業	小売業	建設業	サービス業	合 計
31	22	41	35	52	181

6. 分析方法

各質問項目を100分比に換算し、パーセント（%）数値による分析を行いました。また、好転か悪化の傾向をみる方法として、「増加割合－減少割合＝判断指数（DI値）」で分析を行いました。

「新型コロナウイルス肺炎対応 金融相談窓口」の設置について

さまざまな業種のお客さまに、新型コロナウイルス感染症の影響が拡大しております。
当金庫では、下記のサテライト店を除く本支店窓口に「新型コロナウイルス肺炎対応 金融相談窓口」を設置しております。各種経営相談や、円滑な資金供給を通じて地域をサポートいたします。

サテライト店（相談窓口を設置しておりません）

温根湯支店、相内支店、ことぶき支店、南大通支店【北見市】
南支店、しらかば支店【帯広市】
南が丘支店【紋別市】

本店営業部では土・日・祝日もご相談を承っております。

オホーツク圏経済情勢報告（令和2年7～9月期）概況

	前回(2年8月発表)	今回(2年11月発表)	前回比較	総括判断の要点
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある 【判断の上方修正は、令和元年1-3月期以来、6期ぶり】		個人消費は、感染症の影響がみられるものの緩やかに持ち直しつつあり、観光は、各種政策の効果もあって持ち直しつつある。 一方、雇用は、感染症の影響により弱い動きが続いている。

	前回(2年8月発表)	今回(2年11月発表)	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響により一部に弱さがみられるものの、足下では緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	
観 光	新型コロナウイルス感染症の影響により、悪化している	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるものの、持ち直しつつある	
雇 用	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	

公共事業	前年を上回る	前年を下回る	
住宅着工	前年を下回る	前年を上回る	

先行き	新型コロナウイルス感染症の影響が続くなかで、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染症の動向が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。		
-----	---	--	--